

2011年9月30日

報道関係各位

中部学院大学

中部学院大学短期大学部

リハビリテーション学部 市民公開講座

壮年期から高齢期の健康維持に関する公開講座を開催

中部学院大学リハビリテーション学部 理学療法学科（三上章允学部長）は、学部の開設から4年を迎え、今年3月に初めて卒業生を送り出しました。これを機に、日ごろの研究の成果を市民の皆さんに知っていただこうと、市民公開講座を行います。

今回は、「健やかに生きる」をテーマに、「壮年期から高齢期にかけての健康な生活をどう維持するか」について、本学の3名の教員が最新の研究成果を踏まえて解説します。

講演内容は、

▼「健やかに老いる」老化の生理と老化によって起こりやすい病気、その対応と予防

▼「聞いて得する肩こりの話」肩こりの発生要因

▼「転ばないコツを教えます」転倒に至る原因となる「つまづき」や「ふらつき」の生じるメカニズム について、詳しく解説します。

参加者は一般市民のほか、高校生、在学生、リハビリテーション施設関係者などを予定しています。

記

- 日時 2011年10月15日（土）13：30～17：00
- 場所 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 電話 058-267-6478
(アクティブG2階、岐阜駅サテライト教室、岐阜市橋本町1-10-1)
- 日程 13:20 開場
13:30 開会
13:40 講演 「健やかに老いる」 (講師：奥山 牧夫 本学教授)
14:40 講演 「聞いて得する肩こりの話」 (講師：林 典雄 本学教授)
15:40 講演 「転ばないコツを教えます」 (講師：千鳥 司浩 本学准教授)
16:30 質疑応答
16:50 閉会

[講師紹介]

■ 奥山 牧夫 中部学院大学 教授

岐阜大学医学部助教授、稲沢市民病院長などを歴任し、現在は本学・リハビリテーション学部教授。「健やかに老いる」というタイトルで、老化の生理と老化によって起こりやすい病気、その対応と予防について解説します。老化は多くの遺伝子が関与する多因子遺伝の病態です。高齢になってからも社会と関わり、社会に貢献できる期間をできる限り延長するためには、多くの遺伝子が関与する老化の特徴の理解が重要です。

■ 林 典夫 中部学院大学 教授

日本理学療法士協会認定骨関節系専門理学療法士で整形外科リハビリテーション学会代表理事を務めています。「聞いて得する肩こりの話」というタイトルで、「肩こり」の発主要因についてわかりやすく解説します。また、いくつかある要因に共通のキーワードが肩こりの予防の第一歩になることを示します。

■ 千鳥 司浩 中部学院大学 准教授

日本理学療法士協会認定骨関節系専門理学療法士で、認知神経リハビリテーション学会理事を務めています。「転ばないコツを教えます」というタイトルで、転倒に至る原因となる「つまづき」や「ふらつき」の生じるメカニズムについて解説し、転倒を防ぐコツについてお話しします。

[参考URL]

<http://www.chubu-gu.ac.jp/university/rehabili/topics/2011/110902-01/index.html>

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 リハビリテーション学部(担当:三上学部長) TEL:0575-24-9396 E-mail: mikami@chubu-gu.ac.jp